

碩心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
 神奈川 碩心 会 発行

12年7月現在 逗子地区 葉山地区 大船地区計	会員数 127名 185名 30名 342名	12年7月 (336号) 発行者 千葉岳関 編集者 白井岳麗
----------------------------------	------------------------------------	--------------------------------------

行事予定

- 鎌倉吟舞連盟十五周年記念大会
 日時・10月8日(日) 午前10時20分より
 場所・鎌倉芸術館大ホール
 協賛吟詠は左記の通り
- 逗子地区女子合吟 峨眉山月の歌 李白
 葉山地区女子合吟 太平洋 安達漢城
 韃靼颯匪男子合吟 偶感 西郷南洲
- 横須賀第二地区吟道大会
 日時・10月22日(日)
 場所・衣笠はまゆう会館
- 碩心会地区温習会(葉山)
 日時・11月19日(日)
 場所・葉山町文化会館ホール
- 神奈川県本部最終理事会
 日時・11月25日(土)
 場所・横須賀商工労働センター
- 第111回全国吟道大会(福岡サンパレス)
 10月14日～10月17日
 参加者・千葉岳関、矢嶋岳悦
 白井岳麗、上村岳章
 安田聡岳、依田清岳
 野邑里山

大会日程コース

- 第一日・羽田空港→福岡空港→吉野ヶ里遺蹟
 →太宰府天満宮→二日市温泉(泊)
- 第二日・第111回全国吟道大会→原鶴温泉(泊)
- 第三日・長崎原爆資料館→大浦天主堂→グラ
 バー園→雲仙温泉(泊)
- 第四日・鳥原港→熊本城→水前寺公園→阿蘇
 山頂→熊本空港→羽田空港着
 (18時25分頃の予定)

7月9日

碩心会夏季吟道講座

教務部長 杉山 岳雪

第三回吟道講座も皆様のご協力により、無事終わることが出来ました。特に講師の先生方には内容の充実した講義を頂き感謝申し上げます。当日会員の皆様には諸準備にお力添えを頂きまして誠に有難うございました。今後、この吟道講座に関し皆様からのご意見、ご希望を取り入れ、受講して良かったと思われよう内容の充実を図りたいと思います。

碩心会夏季吟道講座を終えて

堀内B 加藤美岳

台風一過、朝から真夏の太陽が照りつける平成12年7月9日(日)図書館大ホールにおいて第三回碩心会夏季吟道講座が、百四十六名参加予定の処、百二十七名が出席されました。この度教務副部長を任命され始めての仕事が、教務部の大イベントである夏季吟道講座でした。

私も午前中はホールの中で講義をお聞きすることは出来ませんでした。

午後の第三講時から受講することが出来ましたが、先生方のそれぞれ個性ある内容に会員の中にはテープを取ったり、うなづかれたりとても熱心でした。

最後に質疑応答の時間もあり、四、五人の方がアクセントや呼吸法など内容の濃い質問に、講師の先生方が懇切な応答をされ大変勉強になりました。本当に有難うございました。

来年は準備運営に更に改善を図り、名実ともに会員の皆様に喜んで参加してもらえ講座にするよう、微力ながら一生懸命努力したいと存じます。

第三回碩心会吟道講座を受講して

堀内A 白井岳麗

梅雨ばれの一日かけた吟道講座

当日の資料を手にした時、準備された講師の先生方と、教務部長をはじめ担当された方に先ず感謝申し上げます。

参加された皆さんも教場と別の指導法で、また新たな勉強をされたことと思います。

滝の坂 佐久間 岳 爽

吟法の一部について、疑問を抱いていたことを今回質問させていただき、丁寧なご解答を得て納得しました。多勢の皆さんの前で質問することは勇氣も必要なことでした。

逗子B 磯村 岳 朋

今年も夏季吟道講座を聴講し、先生方の個性あふれる吟をテープにおさめました。

暑い中の熱い講義に、閉講後も意見が飛び

かい久しぶりに学生気分を味わいました。

堀内E 西岡 清 岳

十段の査定を前に有意義な講座でした。

今までになかった質疑応答は、日頃疑問に思っていた「呼吸法」を説明していただき、自分なりの練習で得るものになりたいと思います。

声で損していませんか (続)

大声を張り上げても平気な人は、よほど声帯や共鳴構造に恵まれている人で、せいぜい五人に一人くらいのものである。大なり小なり発声上の欠陥を持っている人たちは、発声時に声帯に余分な力が加わり、あたかもサイドブレーキをかけたまま、車を発進させているようなものだ。欠陥のある人が大声を出し続けられれば声帯をいためるのが当然、まずブレーキをはずさなければいけない。

声に問題のある人は①息を吸うときに肩または胸の上部があがる(胸式呼吸)②声を出すときに、のど仏の周りに筋または血管が浮き出る③のど仏があごの下にくい込むように上がっている、など共通した特徴があり、こうした現象を持っていると、声は使えば使うほど発声障害に向かいやすい。

声の能力が体力と関節機能などに密接な関係があり、正しい腹式呼吸のトレーニングと共に、体の柔軟性を保つよう体力づくりが心かける必要がある。

(編集子) 終

第2回碩心会温習会を終えて

逗子A教場 鈴木 江岳

6月18日(日)梅雨の谷間の晴天に恵まれ、定刻にはほぼ満席にて開会された。

加藤岳洵副会長の開会の辞と、吟に対する心構えなどご指導いただきました。

今回からは壇上に吟者控え席の椅子は設けず、進行係の手際が良いので吟者が戸惑うこともなく、舞台が大変綺麗に見えました。

その上白井岳麗先生のご寄贈による進行電光盤が何よりも一際会場を引き立てました。吟者番号も見易い上、舞台も広くなって感激いたしました。吟者も今迄と変わった舞台で一層熱が入ったようでした。

プロが進み許証授与の段階で奥伝の部に入り、新井国風さんが只お一人呼ばれた時、私は思わず「エ、一人だけ」と口に出してしまいました。本当に会員が減少しているのが現実にはわかります。これからは私達一人一人が詩吟は健康に役立ち、友達との楽しいふれあいも得られることを伝えながら、入会者を集めることを常に心掛けて、吟道に精進してゆきたいと思えます。

神奈川地区吟道大会に参加して

逗子B 新井 國風

第8回神奈川地区吟道大会は6月25日(日)、海老名市文化会館において開催されました。

小雨の降りしきる中を会場に向かいました。小雨の降りしきる中を会場に向かいました。装を揃えて練習するグループなど、朝早くから熱気に包まれておりました。

プログラムは連吟及び合吟コンクールが中盤に大きく占められており、前後を会員吟詠と乃木希典の一生を綴る構成吟で編成されておりました。

国旗を中心に掲げた舞台作り、威儀を正した役員がリードする修礼など厳肅な雰囲気。ベースに、コンクールの緊張感が適度に全体を引き締めて大会を盛り上げておりました。

全国の会員が減る傾向にある中で、微かながら増加している神奈川県の現状を立平大会会長挨拶の中で聞き、新しいジャンルへ流れざるの風潮に惑わされず、吟の本質を守り伝える姿勢が、これを反映しているように思えるのでした。

第8回神奈川地区吟道大会

堀内E 西岡 清岳

梅雨の中6月25日(日)、神奈川県のほぼ中央に位置する海老名市の文化会館に於て開催されました。会場も広く満席でした。

修礼、国歌斉唱、皇太后様ご逝去により黙禱。開会の辞は大会副会長の鹿嶋岳久先生の「今日一日吟道研鑽に励んで下さい」のご挨拶に始まり、午前は70番までの会員吟詠。

昼食後1時より式典。加藤岳心先生の先導で「朗詠」を大合吟のあと、空気も緊迫する連吟コンクール、合吟コンクールに入り全チームとも熱吟で、どの組も入賞に価する見事な競吟でした。

最後に連吟コンクール、合吟コンクールの結果が発表され、順位は次の通りでした。

連吟コンクール	合吟コンクール
優勝 横南	優勝 聖吟
二位 岳声	二位 横南
三位 さがみ	三位 さがみ
四位 正心	四位 横南
五位 誠吟	五位 町田

年齢別吟詠大会に寄せて

幸和支部 西川 幸岳

若葉の樹の間から青い空が眩しい5月21日(日)、神奈川県本部主催の高齢者吟詠大会が地球市民かながわプラザで行われました。

定刻には神奈川県全域から関係者が集まりました。本年は5月21日と6月4日の両日に別れ年齢別、段位別という初めての試みで一同気楽に参加することが出来たと思います。

それと同時に、この振分けをして下さいました担当の先生は大変でいらしたでしょう。大会は和歌に始まり、六段以下、奥伝位、皆伝位とそれぞれの段位が年齢別。漢詩の部に至まで20段階にプログラムが編成されました。

5月21日の部で私は入賞させて頂きましたが、このような企画にご尽力下さいました諸先生と、またご指導下さいました村田岳瀬先生に改めてお礼を申し上げます。

来年度もまた一人でも多く、元気に参加できますよう。碩心会の皆様の出場を希望いたします。

神奈川県大会、海老名の帰りに

矢嶋 岳悦

海老名駅より帰路の電車に乗る。日曜日ですほど混んではないが、車両の端の一つ空いた席に掛けた。隣には18才位の女の子と髪を染めた同年輩の男の子が並んで座っていた。

次の駅でおばあちゃんが乗ってきた。すかさず男の子が席を譲った。照れもせず、臆せず、気持ちの良い立ち方に感心した。

思わず「偉い」と言葉が口を突いた。「あなたいい子だね。今時の子はと大人達は言うが……」一日の疲れも、コンクールに落ちた口惜しさも素飛んだ。多分よい親御さんに育てられたのであろう。

今日は良い日だったと温かい気持ちで帰宅した。

素直に喜べる自分を吟の道のお陰と感謝する。



俳句

高橋之風

眉を引く指どくだみの香の残り

失恋のところに灯す吊忍

遅しき背中に蟬の声しづく

退会

514 森本幸泉(下山口)

住所変更

27 渡辺岳峰 鎌倉市笛田6-15-11

(逗子A) ☎〇四六七-三一-二五三四

編集後記

副会長の加藤岳洵先生が大変お忙しい中を時間をさいて編集に参画して下さいようになり三回目を迎えました。いろいろ心強いご指導をいただきながら新しい活気の中で、会場として限りある時間も忘れて取り組んでおります。

すべて新しい息吹を(風)を入れることが必要であることを感じます。

全員が力を合わせて一歩でも進んだ広報でありたいと願っております。